



つながり 広がり 高めあう
市民活動はまちの未来を創造する

季刊えぬさぽ VOL.6

特定非営利活動法人 NPO サポート・しみず会報 発行日:2013年6月22日

発行:特定非営利活動法人 NPO サポート・しみず

〒424-093 静岡市清水区港町二丁目 1-1 TEL.054-340-1012

E-mail:n-support@shimizu-s-center.org

NPO法人となって初めての会報をお届けします。

第1回定期総会終わる 任意団体は役目を終え解散に

2012年12月17日に、NPO法人設立の登記を行いました。本来ならば任意団体から法人にそのまま移行したかったわけですが、「市民活動センターの指定管理者は、任意団体NPOサポート・しみずである」という静岡市議会の議決があり、協定書の変更はできないとのことで、2013年3月31日の第2期指定管理期間満了までは任意団体は存続し、かつ法人としてのスタートを切るという形になりました。また12月27日、法人として清水市民活動センター第3期指定管理者の候補者に選定されました。3月14日付けで、市議会で議決し正式に選定された旨の通知が届きました。

指定管理期間が終了後、決算や報告書類の作成と市への報告など、実質5月までは任意団体の残務が続き、同時に第3期指定管理者の法人は、事業計画策定、市や業者との契約締結を進めるという慌ただしい日々を経過し、総会までこぎ着けました。



書類が
たくさん!
ややこしい



5月31日、清水市民活動センターにおいて、NPOサポート・しみず解散総会がおこなわれました。平成24年度および25年度の事業報告、収支報告が行われました。水崎監事からは、指定管理業務とその他委託事業に限られた人数で取組みながら、他セクターとのネットワーク構築や、法改正に対応した事業による行政やNPO法人への貢献について評価をする監査報告がありました。また、任意団体の残余財産については、法人に「寄附」として移譲することを満場一致で議決しました。この日をもって、3年余の活動を続けてきたNPOサポート・しみずは解散となりました。

引き続き、特定非営利活動法人NPOサポート・しみずの第1回定期総会が行われました。任意団体立ち上げ期からの会員の外、他団体で活動している方や、研究者がメンバーに加わり、パワーアップへの期待大です。センターの平成25年度の事業はすでに始まっていますが、団体として他事業も取りながら、中間支援団体として地域に根差した活動を進めていくことを確認しました。

ご挨拶

会員のみなさま、先日の定期総会への出席、ありがとうございました。これまで清水市民活動センターの指定管理を担ってきた任意団体が解散し、団体としては、一つの節目となりました。

清水市民活動センターの指定管理事業をはじめ、県事業などそれぞれの事業に於いて、大きな評価を得ることができました。センター運営の3年目は、NPO法改正への対応支援、企業との連携・協働の橋渡しなども実施しました。

これらの成果を元に、法人として清水市民活動センターの第3期指定管理を受けることができ、4月から新しいスタッフも迎え、気持ちを新たにスタートしています。

NPOを取り巻く状況は日々変わってきています。地域社会における様々な課題も顕在化しています。

これまでの会員のみなさまの協力に感謝するとともに、新しい会員や監事の方とも協力しあって、中間支援組織として、人材育成事業、地域の課題を解決するための各セクターとの連携・交流の促進など、今年度は意欲的に取り組んでみたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



適当な写真が無いんですよ、ホントにもう…

特定非営利活動法人NPOサポート・しみず 理事長 磯谷千代美

平成 25 年度役員

新たに金川幸司さんが監事に

任意団体の監事、鯉淵ヒロミさんが法人化を機に退任されました。

NPO法人として団体の社会的責任もさらに重くなった今、理事会は活動を監査するには複数の監事が必要と判断し、予めからその任にあたる方を探していましたが、金川さんが引受けてくださることになりました。

金川幸司さん

静岡県立大学
経営情報学部経営情報学科 教授
経営情報イノベーション研究科 教授(兼務)
経営情報イノベーション研究科長
専門分野

公共政策学、行政学、非営利組織論
(静岡県立大学データベースより)

センターには、以前学生さん連れて見学に来て下さったこともあります。非営利組織についても専門分野とのことで、とても心強い監事さんです。どうぞよろしくお願いいたします。



NPOPOPOLO との協働提案

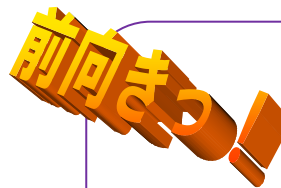
しずおか未来づくり雇用プラン

ふじのくにNPO活動基金NPO活動助成事業

以上2件については不採択でした。
企業も参入してくる厳しい時代となりました。
NPOも更なるスキルアップを迫られています。

他事業について中間報告

センター指定管理業務以外の事業にも積極的に手を挙げよう！これが今年の方針です。



防犯まちづくり専門講座
協働の底力

現在、応募書類作成中です。

今年度から防犯講座もプロポーザル形式となり、緊張します。

協働の底力は新たなチャレンジです。